

運動会のご参観、ありがとうございました！

26日(日)に開催した本校の令和7年度運動会において、保護者の皆様に多数ご参観いただき誠にありがとうございました。前日の雨や運動会当日の午後の雨から考えると、子ども達の運動会への思いが、雨雲を一時的に吹き飛ばしてくれたように感じました。そうした中で行われた運動会でしたが、子ども達は、精一杯に競い合ったり、表現したり、役割を果たしたりすることができました。そうした姿を励ますように保護者の皆様からたくさんの拍手やご声援をいただきました。保護者の皆様のこのようなお声掛け等がエネルギーとなり、子ども達はいつも以上の力が発揮でき、充実感や達成感につながったことと思います。本当にありがとうございました。今回の運動会を通して、子ども達は一段と成長したのことと思います。



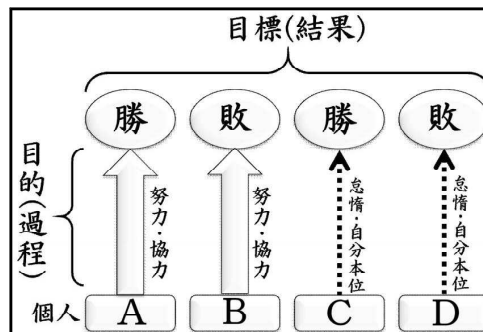
また、テントをはじめ会場の片付けの際にはたくさんの保護者の皆様に残ってご協力いただき、本当にありがとうございました。皆様のご協力のおかげで、スムーズに片付けを行うことが出来ました。こうした皆様の支えのおかげで、学校の教育活動をしっかりと進めていくことが出来ていること、心より感謝いたしております。今後とも、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

感じたことから

〇望む結果は「目標」、「目的」はその過程

子ども達は、運動会に向けて、この2週間の練習をよく頑張りました。「ダンスを上手に踊ろう」「しっかり声を出そう」「相手に負けないように作戦を立てよう」等、高まろうとする姿が見られていました。その意欲はどこから来ているのでしょうか。一つに、赤白に別れて切磋琢磨しながら“勝利を目指す”というところが大きいのではないかと思います。すなわち、“勝利を目指す”ことで、一人一人が努力をしたり、友達と力を合わせたりするエネルギーが湧いてきているのでしょう。ただ、こうして「勝利」という目標を立てて努力をしてみても「勝利」を得ることが出来るのは、赤か白かのどちらかです。「勝敗」という結果は無情なものです。今回の運動会の場合は「赤」が勝ったので、目標達成です。では、敗れた「白」は目標が達成できなかったのもので、意味がないものになってしまったかということ、そうではありません。

右の図をご覧くださいなのですが、運動会に限らず、何らかの「勝利や成功(結果)」を目指すことは「目標」だと言えるでしょう。そのことからすると、「目標」を達成した人は、「Aさん」と「Cさん」です。ただ、「Cさん」は、その「過程」で怠惰な姿や自分勝手な姿が見られています。この場合は、「目標」は達成したかもしれませんが、価値は見出せません。むしろ、「目標」は達成しなくても精一杯に努力し、他者と協力している「Bさん」は素晴らしいと思います。



「人生は、“結果”が全てだ！」という考え方もありますが、小学生である子ども達に価値あるものとして感じてほしいのはその「過程」です。それこそ、学校で様々な行事を位置づける「目的」であるのです。

先日の運動会においては、「勝利」という「目標」に向かって、努力し、協力し合う姿がたくさん見られていました。そして、その姿こそが運動会を実施する「目的」ですし、その経験から子ども達の成長が見られるはずです。

現に、今回の運動会でとてもよく頑張っていた団長さんにそのよさがよく表れていました。赤組団長のO・Tさんは、運動会期間中、日常生活の場面で下級生にちょっと不適切な発言が聞こえてきたら、それを優しく諭す姿が見られていました。白組団長のO・Sさんは、朝、運動場で遊んでいる下級生に、大きな声で、「教室に戻るよ！」促していました。二人とも運動会の団長として培った人間力を活かした「目標」を達成している姿だといえるでしょう。



よく「運動会での経験を生かしていこう」ということが言われますが、この団長さん二人のように、運動会に向けて練習してきた過程で培った力を様々な場(毎日の学習、日頃の生活、習い事、友達や家族とのかかわり...)で発揮してくれればと思います。そうであってこそ、この運動会の「目的」が達成できたといえることになるのだと思います。運動会が本当に成功したかどうかは、これからの子供達の姿にかかっているのだと思います。